

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 9日

事業所名 門真市障がい者福祉センター 放課後等デイサービスすてっぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	63%	38%		配置上の問題は無いが、より細かい支援をするために非常勤職員を増やしていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	エレベーターの複数設置、スロープ設置などがされている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	75%	13%	各スタッフとの話し合いも含め、必要時に行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	88%	13%	毎年行い、意見を参考に改善等の検討を行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	88%	13%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	25%	第三者ではないが、同グループ内の事業所から内部監査として評価してもらっている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	88%	13%	毎月、事業所全体の研修や、放デイの研修を行い資質の向上に向けて取り組んでいる。	研修を通して学んだことを継続できるような、取り組みが必要である。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	モニタリング等を通じて情報やニーズを整理し、作成するようにしている。	時期によって取り組みが遅れてしまうことがある為、スケジュール管理が必要。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	75%	25%	新しい活動等各スタッフと共有して取り組んでいる。	マンネリ化、固定化しないように定期的に皆をす必要がある。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	75%	25%	プログラムが状況に応じた支援になるように努めている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	63%	25%	状況に応じた支援になるよう努めている。	長期休みの際は時間が長い事もあり、児童の気分転換で散歩をするなど、取り組んでいるが機会を増やしていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	現在のニーズに合わせた計画にしている為、統合した内容になっている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	25%	63%	その時々、リアルタイムで共有している。	長期休み等、朝からの受け入れの際は事前打ち合わせが難しい事もある為、状況によっては個人個人でのやり取りなる事もある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	88%	13%	朝礼・終礼等で共有を行うようにしている。	長期休み等の際は、シフト制になり終礼等での共有難しい為、議事録等に残して各々確認するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	文面の確認をし、間違っていたら改善をするようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	最低半年に1回は行うようにしている。	保護者の都合等により、実施が遅れることもある。早めのアプローチを取るなどする必要がある。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	自立支援・日常生活等に関する活動を主にしている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	75%	25%	近年、学校からの発信やデイから連絡をするなどして、共有をする機会が増えている。	時折、下校時間の確認が不十分で下校時間が誤っていたりすることがある為、密に連絡を取るようになっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	主治医指示書や電話連絡等を通じて受け入れ体制を整えている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	25%	75%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	88%	13%	法人外での移行の際は、必要時移行に向けての情報を提供するようにしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	隔月に行われている会議に参加し、共有を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	38%	50%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や電話等で保護者との連携を行っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	38%	63%			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時・モニタリング時・変更時など必要に応じて行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談等があった際は、聴き取り、職員間で共有したり対応等を検討し個別に話している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	88%	13%	年に2回の内、1回は放デイのみで、もう1回は生活介護と合同で交流会を設けている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	88%	0%	すぐに対応できることはその日のうちに対応・説明、検討が必要なことも出来るだけ早く話し合い、後日必ず説明等を行うようになっている。	その日のうちに必ず謝罪を行うようになっているが、内容によっては時間差になる事もある。出来るだけスピーディーに行うように努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	88%	0%	機関誌の発行・インスタグラムでの発信を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	88%	13%	夏にお祭りを開催し交流を図っている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	88%	13%		保護者には十分とは言えない。マニュアルを作成していることを周知する必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	75%	25%	定期的に災害等を想定した訓練の実施をしている。	内容が固定化しないようにする必要がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	事例を挙げての研修を行うなど、必ず行うようにしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	他事業所と合同での会議を行い、検討するようにしている。 必要な場合は必ず保護者へ説明・同意を得るようにしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	毎月、事業所全体の研修で周知したり、終礼等で取り上げるようにしている。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 5月 9日

事業所名 門真市障がい者福祉センター 放課後等デイサービスつづ 保護者等数(児童数) 29 回収数 14 割合 48%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	79%	21%	0%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	86%	0%	0%	14%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	86%	0%	0%	14%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	100%	0%	0%	0%		
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	79%	7%	0%	14%		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	29%	14%	21%	36%	コロナも減っている為、地域のイベントなどを通して交流する機会があると嬉しい。	行う検討をしていく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	93%	0%	0%	7%		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	86%	0%	0%	14%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	79%	7%	0%	21%		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	86%	0%	0%	14%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	71%	7%	0%	21%		
14 個人情報に十分注意しているか	0%	0%	0%	0%			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	93%	0%	0%	7%		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	57%	7%	7%	36%		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	0%		親子共々複数の事業所を利用していると、ここが一番イキイキと利用できていて満足している。
	18 事業所の支援に満足しているか	93%	0%	0%	7%	入浴の利用日数が増えると嬉しい	1日の利用人数を鑑みて、入浴回数の検討をする。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。